

朴 宣河

横浜国立大学大学院工学府建築計画研究室 博士後期課程

職員の視点からみた高齢者介護施設の設計指針に関する研究

高齢者施設など介護現場において、介護職員の人材不足は深刻である。このような人材不足は、ケアの質の低下にもつながり、今後質の高い介護サービスを安定的に確保するためにも彼らが働きやすい職場環境を作ることが重要である。本研究では、職員が快適に働き続けるための高齢者施設の環境条件を明らかにすることを目的とする。本研究で得られた知見を以下にまとめる。

1) 職員の職場としてのニーズ：高齢者施設において、職員のメンタルヘルス向上のためには休憩場所を確保することが必要であることが示された。また、仕事の効率向上のためには、記録などができる空間を整備することが必要であることが確認できた。

2) 休憩環境の条件：休憩環境としては、入居者から離れ、仕事のことを忘れ、心身とも休まることができる環境が求められていた。その環境の物理的条件としては、他の職員に遠慮せずゆっくり休むことができる広さや畳やソファなど足を伸ばして休むことができる設備、自然の様子が感じられる空間の演出などが挙げられる。